

電気製品の修理代が高い！

2010年2月21日号

「冷蔵庫から水漏れがあり、メーカーに修理を依頼したが、結局買い換えなければならぬ。出張費が高額過ぎる」、「TVが故障し、近隣の電気屋さんに来てもらったが、プラグをかえただけですぐに直った。技術料が高い」最近こういった相談が増えています。

電気製品の修理料金は、3つの項目で構成されています。修理料金＝技術料＋部品代＋出張料です。技術料は、①技術者に係る費用(人件費)、②測定器、工具などの設備費、③その他一般管理費です。出張料は技術者を派遣する費用で、駐車料金が別途かかることもあります。また、日・祝日や夜間対応などを要望すると、加算される場合があります。

実際に修理するかどうかにかかわらず、修理品を点検し故障の診断や故障個所の特定、修理料金の見積りを出すことだけで料金は発生します。また簡単な修理であっても、技術者がみないとわからなかったのなら、その対価は支払うべきものです。修理依頼するときは、最低限かかる費用を事前に確認してから、お願いするとよいでしょう。